

本日は、ご両家のおめでたい宴にお招きをいただきまして、ありがとうございます。ご指名に預かりました藤井でございます。3月まで新婦の同僚として働いておりました。現在は一倉吉市民として有意義な生活をさせていただいております。

昨年春、Yさんから「H県の採用試験を受けます。結婚することになりました。」という話を聞きました。他県に行つて教員を続けたいという話に多少の驚きはありましたが、本人の努力のせいもあり、採用試験にめでたく合格、今年の3月には、倉吉市の自宅での結婚式に参加させていただきました。その折、お似合いのカップルだと感心したものです。

今、新郎に寄り添っているYさんを見ますと、何とも言えず微笑ましい光景です。Yさんはしつかり、自分に似合いのりっぱな男性を射止めたわけです。

はなむけに、「郷にいれば郷に従え」と「ライフワークバランス」という話をしたいと思います。が、せっかくの機会ですので少しだけ倉吉市と阪神地区に関わることを話させていただきます。この式場の近くは美しい町並みが続き全国で百あまりある伝建群（伝統的建造物保存地区）の一つともなっています。実は、倉吉市にも白壁土蔵や打吹・玉川伝建群があり観光客も増えてきています。Yさんの実家も伝建群の中にあり、淀屋橋で知られる大阪淀屋ともつながりがあるといわれる淀屋清平（倉吉淀屋）と関係があります。同じ伝建群、阪神地区と山陰の小都市倉吉とのつながりをお二人を拝見しながら何かの縁があるものだと思います。

さて、「郷にいれば郷に従え」ということです。Yさんにとっては、四月からは仕事も生活も新しい環境です。大変なことも多いと思いますが、まずは「郷にいれば郷に従え」の気持ちでとけ込んでみてください。私も愛知県での教員生活がスタートで鳥取に帰ったときには様々な違いに戸惑いがあったことを覚えています。新しい環境に慣れれば本来のすばらしい自分の力もますます発揮できることと思います。

次に、「ライフワークバランス」を大切にしてください。ライフワークバランスとは、幸せな人生を送るために、自分の価値観にあった働き方、仕事と生活の調和を考えようということだと思います。ライフワークバランスを保つコツは、自分にとっての優先順位を明確にすることだと思います。まさに、仕事も生活も充実していくために必要なことです。

「良き妻は良き夫をつくる 良き夫は良き妻をつくる」という言葉もあります。しかし、良き夫、良き妻となるためにはお互いの努力も必要です。夫婦には「あうんの呼吸」が必要ですが、そのようになるまでには、かなりの年月を要するものです。やはり、最初のうちはいろいろと話し合つて、お互いに分かり合うことがことで「良き夫」「良き妻」になるものだと思います。

以上、お二人の門出のはなむけとさせていただきます。本日はおめでとうございます。